本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

USER'S GUIDE
2383*JA

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

CASIO

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

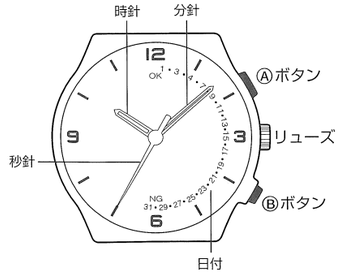
時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

各部の名称



＜ご注意＞

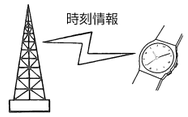
- 日付はⒷボタンを押して電波受信確認後、見ることができます。

※受信確認（24時間以内の受信確認）参照

電波時計について

●電波時計とは

正確な時刻情報[日本標準時]をのせた標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。本機は、長波標準電波JJY（40kHz）を受信します。



日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

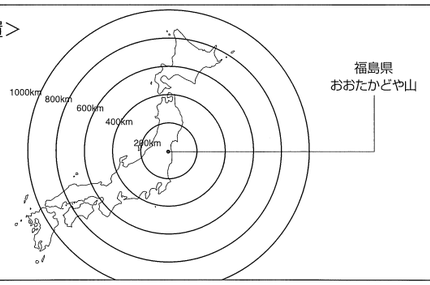
●標準電波

標準電波は郵政省通信総合研究所（CRL）が運用しております。
長波標準電波は、福島県田村郡のおおたかどや山標準電波送信所から送信されます。
この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

●電波の受信範囲の目安

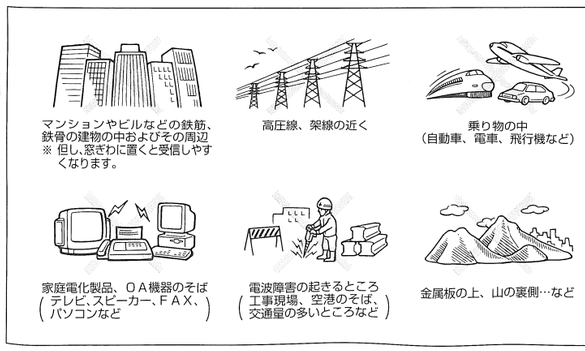
条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。
※ ただし、約500kmを越えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。
また、受信範囲内であっても、季節や天候、使用場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響などによって、受信できないことがあります。

＜送信所の位置＞

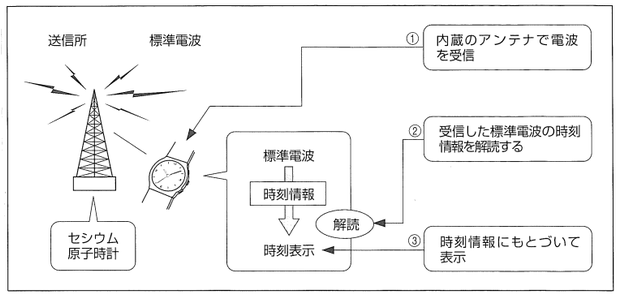


●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。
以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。



●受信のしくみ



●電波受信について

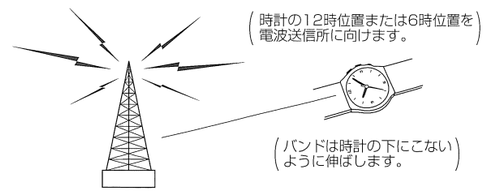
本機は1日1回、午前2時に電波受信を自動的に行ないます。
受信は2～10分間行なわれ、受信が成功すると時刻を修正します。
※ マニュアル時刻合わせを行なうと、受信に成功するまで午後2時にも自動受信を行ないます。
※ 受信確認操作は（前回受信が不成功の場合のみ）、針の12時位置合わせ操作から電波受信を行なうこともできます（「受信確認（24時間以内の受信確認）」および「針の12時位置合わせ」参照）。

＜正しく受信するために＞

○電波受信できる場所でお使いください（「使用場所について」参照）。

○本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります）。

最も受信しやすい置き方



○受信中はボタン操作をしないでください。

＜ご注意＞

○自動受信を行なう午前2時から10分程度はボタン操作をしないでください。

○電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

○本機は日本で送信されている電波に合わせて設定されていますので、日本国外および標準電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。

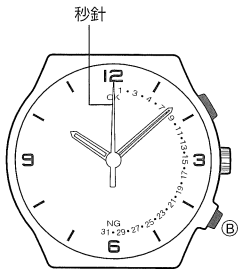
○電波受信をほとんど行なわないときは、製品仕様に記載されている精度範囲で動きます。

○極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。このような場合には、針の12時位置合わせを行なってください。

受信確認（24時間以内の受信確認）

Ⓑ ボタンを押します

<受信している場合>



●受信していると

秒針が12時位置まで移動します。
その後、当日の日付位置まで移動し、その後正しい秒カウントと一致すると秒針が動き出します（秒針が動き出すまで、最大1分30秒かかります）。

●受信していないと

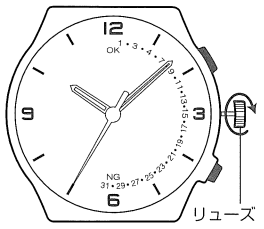
秒針が6時位置まで移動します。その後、日付位置まで移動し、自動的に受信を開始します。
秒針は正しい秒カウントと一致すると動き出します（秒針が動き出すまで、最大2分かかります）。

※ 電池交換やマニュアル時刻合わせなどにより受信データがない場合は、日付が表示されません。
※ 受信は2～10分間行なわれます。
※ 受信中はボタン操作をしないでください。
※ 約10分後にⒷボタンを押すと、受信確認ができます。
※ 受信確認の操作を頻繁に行ないますと、電池が早く消耗します。

時差変更のしかた

日本から時差のある海外へ行ったときなど、1時間単位で時刻を変更することができます。
※ リューズでは時針のみ回ります。

1 リューズを引き出して、ゆっくり右回転させます



➡時針が1時間ずつ進みます。
※ リューズを引き出す際、修正状態の手前でクリック感がある場合があります。このときは、さらにもう一度引き出して正しい修正状態にしてください。

2 合わせ終わったら、必ずリューズを押し込みます

★日本に戻ったときは、必ず同じ操作で日本時刻に合わせてください。

マニュアル時刻合わせ

電波受信ができないときは、以下の方法で合わせてください。

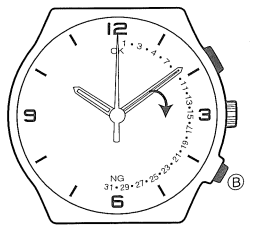
マニュアル時刻合わせでは、リューズで修正しないでください。12時位置合わせがずれます。

1 Ⓐ ボタンを4秒以上・8秒以内の間押し続けます



➡秒針が12時位置に移動します。

2 時刻合わせはⒷボタンを押します



➡押すごとに秒針が1回転して、分針が1分進みます。
※ 押し続けると自動的に針が高速回転します。
※ 高速回転している針を止めるには、もう一度Ⓑボタンを押します。

3 時報に合わせてⒶボタンを押します

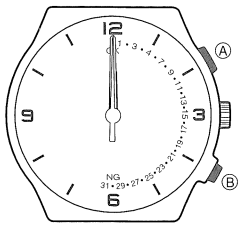
➡秒針がスタートします。

★時刻合わせの状態で何もしないでいると、約2分後操作前の時刻表示に戻ります。
★マニュアル時刻合わせを行なうと午前／午後および日付がクリアーされ、最初の受信は午後2時でも自動受信を行ない、受信が成功すると受信した時刻を表示します。以後、自動受信が成功した場合は、午前2時の1回だけの受信となります。
★マニュアル時刻合わせを行なうと、自動受信が成功するまでは受信確認後の日付は表示されません。

針の12時位置合わせ

電池交換や、本機に強いショックを与えたときなどで電波受信をしても時刻が合わないときは、針の12時位置合わせを行なってください。

1 Ⓐ ボタンを8秒以上押し続けます



➡針の位置が正しい場合は、全部の針が12時位置に移動します。
※ 針が高速回転しているときは、ボタン操作ができません（最大9分）。
※ 全部の針が12時位置に移動したときは、もう一度Ⓐボタンを押すと元の時刻に戻ります。
※ 12時位置合わせ状態でそのままにしておくと、自動的に受信を開始します。

2 12時位置に合わない場合は、Ⓑボタンを押して合わせます

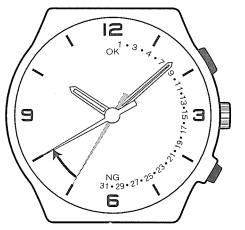
➡押すごとに1秒ずつ進みます。
※ 押し続けると自動的に針が高速回転します。
※ 高速回転している針を止めるには、もう一度Ⓑボタンを押します。
※ 全部の針を12時位置に合わせたら、Ⓐボタンを押すと修正された元の時刻に戻ります。

3 電波受信を開始する

➡Ⓐボタンを押さずに放置すると、自動的に受信を開始します。本機を受信しやすい場所に置いてください。
※ 受信は2～10分間行なわれます。
※ 受信中は針が動きません。
※ 受信に成功すると、正しい時刻を表示します。
※ 受信に失敗した場合は、元の時刻（12時位置合わせをした場合は修正された元の時刻）に戻ります。
※ 受信中はボタンを押さないでください。

電池切れ予告

電池が消耗してくると、秒針が5秒運針をして知らせてくれます。
電池切れ予告となったときは、なるべく早めに電池を交換してください。
※ 5秒運針とは、秒針が5秒間止まり、一度に早送りで5秒進む針の動き方です。
※ 低温下での使用や連続的な受信操作などで一時的に電池の電圧が下がったときに、5秒運針となることがあります。この場合は、しばらくしてから受信操作をすると通常運針に復帰します。



製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：電波受信による時刻修正が行なえない場合は、月差±20秒以内
表示方式：針式アナログ表示
駆動方式：ステップモーター方式
電波時計機能：自動受信（午前2時）

受信電波＝長波標準電波JJY
周波数＝40kHz

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使用電池：CR-1620
電池寿命：約2年（自動受信を1日1回使用の場合）

ご使用上の注意

防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください（特殊な治具を必要とします）。
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止ったりすることがあります。
●＋60°C以上の所に長時間放置すると支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけると、故障の原因になります。

磁気

●家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ／進みが生じることがあります。

薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

●「サビ」
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
- 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。
- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■電池交換について

最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※ なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有料となります）。